

記載例1 同居の親族（妻）から届出する場合

死 亡 届

平成11年5月6日届出

受 理 平成11年5月6日

第 119 号

送 付 平成 年 月 日

第 号

公 館 印

在デュッセルドルフ大使館
日本国総領事殿

書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附 票	住民票	通 知
------	------	------	-----	-----	-----	-----

- (1) (よみかた) こうの じろう
- (2) 氏 名 氏 名 甲 野 次 郎 ☒男 ☐女
- (3) 生 年 月 日 昭和7年6月3日 (生まれたから30日以内に死亡したときは生まれた時刻も書いてください) ☒午前 時 分 ☐午後 時 分
- (4) 死亡したとき 平成 11 年 4 月 3 日 ☒午前 9 時 33 分 ☐午後
- (5) 死亡したところ ドイツ連邦共和国デュッセルドルフ市番地
ハンスフリット通り5番 号
- (6) 住 所 ドイツ連邦共和国デュッセルドルフ市番地
フルーア通り12番 号
世帯主の氏名 甲 野 次 郎
- (7) 本 籍 東京都千代田区霞が関2丁目2番地
筆頭者の氏名 甲 野 次 郎
- (8) 死亡した人の夫または妻 ☒いる (満67歳) ☐いない (☐未婚 ☐死別 ☐離別)
- (9) 死亡したときの世帯のおもな仕事と
- (10) 死亡した人の職業・産業
- (11) 職業 産業

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。
死亡したことを知った日からかぞえて3か月以内に出してください。

夜の12時は「午前0時」、
昼の12時は「午後0時」と書いてください。

「死亡したところ」は「死亡したとき」とともに戸籍に書かれますので、くわしく国名から番地まで書いてください。なお、病院名を書く必要はありません。

「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

内縁のものはふくまれません。

☐には、あてはまるものに
☒のようにしるしをつけてください。

死亡者について書いてください。

死亡登録証明書を添付する。

届書及び死亡を証する書面
(外国官公署の発行する死亡登録証明書又は医師が作成した死亡証明書)は、それぞれ2通提出してください。
外国文の証明書には翻訳者を明らかにした和訳文を添付してください。

- 届 出 人
- ☒1. 同居の親族 ☐2. 同居していない親族 ☐3. 同居者 ☐4. 家主 ☐5. 地主
☐6. 家屋管理人 ☐7. 土地管理人 ☐8. 公設所の長
- 住所 ドイツ連邦共和国デュッセルドルフ市番地
フルーア通り12番 号
- 本籍 東京都千代田区霞が関2丁目2番地 筆頭者の氏名 甲 野 次 郎
- 署名 甲 野 幸 子 (印) 昭和11年11月1日生

届出人の署名は、はっきりと認めるように本人が書いてください。なお、外国人が外国語で署名する場合は、その「よみかた」をカタカナで併記してください。

事件簿番号

(届出人連絡先及び電話番号